

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第5部門第3区分

【発行日】平成28年7月28日(2016.7.28)

【公開番号】特開2015-68517(P2015-68517A)

【公開日】平成27年4月13日(2015.4.13)

【年通号数】公開・登録公報2015-024

【出願番号】特願2013-201016(P2013-201016)

【国際特許分類】

F 2 3 G 5/50 (2006.01)

F 2 3 G 5/44 (2006.01)

F 2 3 G 5/00 (2006.01)

F 2 3 G 5/04 (2006.01)

【F I】

F 2 3 G 5/50 Z A B K

F 2 3 G 5/50 C

F 2 3 G 5/50 L

F 2 3 G 5/50 M

F 2 3 G 5/50 N

F 2 3 G 5/44 F

F 2 3 G 5/00 1 0 9

F 2 3 G 5/04 H

【手続補正書】

【提出日】平成28年6月9日(2016.6.9)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

【特許文献1】特開昭59-44513号公報

【特許文献2】特公平5-31045号公報

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0043

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0043】

上記の乾燥段側の供給口から供給される再循環排ガスの供給角度は、水平方向から上向きを正の角度として水平方向に対して-16°~0°の範囲で制御される。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0058

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0058】

乾燥段上部天井壁(7)からの再循環排ガスの供給角度を、水平方向に対して-16°~-12°~-8°~-4°および0°(水平)とした場合を、それぞれ、実施例1~5

として計算し、得られた結果を下記表3に示し、また、実施例1(-16°)の場合のNH<sub>3</sub>濃度を図5に示し、実施例3(-8°)の場合のNH<sub>3</sub>濃度を図6に示し、実施例5(0°)の場合のNH<sub>3</sub>濃度を図7に示す。

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0061

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0061】

表3に示されるように、乾燥段上部天井壁(7)の供給口(7a)から供給される再循環排ガスの供給角度と、一次燃焼室出口における、温度、NH<sub>3</sub>濃度、NO濃度、二次燃焼室出口におけるCO濃度、NH<sub>3</sub>濃度との間には相関関係がある。また、図5～7によつても、再循環ガスの供給角度に応じて、乾燥段側に引き寄せられるNH<sub>3</sub>濃度が大きく変動することが示されている。